

1. はじめに

私が今回スクールインターンシップに参加した理由は、将来(主に中学校の)英語科の教員になりたいとっていて、実際の学校現場を教育実習に行く前に見ておきたいと感じたからです。私が研修に参加した学校は、京都市内にある公立中学校で、研修期間は 2022 年 8 月 31 日から 9 月 22 日でした。以下で私が受けた研修内容と研修を振り返って学んだことと感じたことについて紹介しようと思います。

2. 研修内容

主に私は授業見学をしました。担当の学年が 3 年生だったので、3 年生の授業を中心に見学しました。また、それ以外にも育成学級にいる子たちとの接し方を学んだり、合唱コンクールの引率、提出物確認や英作文添削をしたりしました。

3. 研修で私が学んだこと

私が研修を経て学んだことは多くあります。今は ICT 教育の普及で、板書は減り、タブレットが授業で大きな役割を担っていることを学びました。また、教師の一方通行の授業よりもグループトークなどの発話行為を授業に導入することで生徒たちに積極的に取り組んでもらえるということが分かりました。総合の時間も見学させてもらって、もし今回見学していなかったら、将来教師になったときに机間巡視をして終わっていたと思うけど、そうではなく新たな視点での問いを提示することが大切ということも学びました。特に育成学級にいる子たちにはその子たちが好きな作業を与えることが必要ということも学びました。そうすることで集中力を養うことが出来るので、これは本当に大切なことだと感じました。また学活は短い時間で簡潔に要点を述べるのが本当に大切であること、生徒たちに任せて生徒たちに主体性を持たせながらもまかせっきりにほしくないことが大切ということも学びました。そうすることで、クラスの雰囲気上がり、良い環境づくりをすることが出来るということが分かりました。

4. 私が特に大切だと感じたこと

ここからは特に自分が大切に感じたことを紹介します。教師はあくまでも生徒たちの支援をする人で、主役にはならないということです。そうすることで生徒たちが「できた」ということを感じる事が出来るのかなと思いました。また今はコロナ禍でなかなか厳しいけど、コミュニケーションは本当に大切だと思います。それがあってこそその学校という集団の場なのかなと思いました。生徒の発話の機会をなくさない学校づくりについて考えていく必要があると感じました。

5. 最後に

スクールインターンシップでは私たちが生徒の立場では見る事が出来ない学校現場を見学することが出来ます。そこで、多くのことを学ぶことが出来ました。皆さんもぜひ履修して、多くのことを学んでください。最後までお読みいただきありがとうございます。ありがとうございました。